

## 令和2年度 いじめ防止啓発事業案一覧（案）

いじめ防止啓発事業の趣旨	主に小・中学生を対象に、いじめ防止をテーマにした啓発事業を毎年継続して行うことにより、子どもや保護者をはじめ市民全体にいじめをなくそうとする意識を定着させる。
--------------	---

No.	実施案	期待できる効果	想定される課題
1	ロゴマークのデザイン (円の中に描く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受賞作品を啓発グッズに使用できる。</li> <li>• 啓発グッズに使用されるため、応募意欲がわく。</li> <li>• 絵が苦手な人もポスターなどを作成するより、気軽に取り組みやすい。</li> <li>• 昨年度も実施したため、馴染みがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デザインによってはグッズ化が難しい可能性がある。</li> <li>• マークで「いじめ防止」を連想させることが難しい。</li> <li>• 審査基準の設定が難しい。</li> </ul>
2	過去の受賞作品（標語・あい うえお作文）をもとにロゴマ ークを作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業に継続性を持たせられる。</li> <li>• 啓発グッズに使用されるため、応募意欲がわく。</li> <li>• テーマが絞られているため、考えやすい。</li> <li>• 過去の受賞作品が使用されるため、受賞者も意欲を持って取り組むきっかけにできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デザインによってはグッズ化が難しい可能性がある。</li> <li>• 作品を見ただけで「いじめ防止」が連想しにくい。</li> <li>• 受賞作品によってはイラストにすることが難しい。</li> <li>• 絵が苦手な人は取り組みにくい。</li> </ul>
3	いじめに関するクイズを出題 (スタンプラリー等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新たな取組であるため新鮮さがある。</li> <li>• 気軽に取り組みやすい。</li> <li>• 単発ではなく、継続的に周知できる。</li> <li>• (方法によっては、) 学校の負担を軽減できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クイズの内容に考慮する必要がある。</li> <li>• 実施方法に検討を要する。 (紙は学校負担増、電子は利用できない児童生徒が出てくる。)</li> </ul>

※上記の事務局案以外に、取り組めそうな事業があれば是非ご提案ください。